

■第4回 日立市地域創生有識者会議 議事録

日時：平成27年10月29日(木)午後2時から

場所：消防拠点施設3階講堂

出席委員数：38名中36名

1 開 会

2 会長挨拶

- ・前回の会議以降、有識者会議委員を始め、様々な方から御提案をいただき、「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」にアイデアが盛り込まれている。
- ・今回の総合戦略（案）では、数値目標及び重要業績評価指標（K P I）を事務局に設定していただいた。数値で測れないものもあるが、数値で測れるものはしっかりと確認していくことが大事である。今回も、様々な意見をいただきたい。

3 確認事項

（1）第3回日立市地域創生有識者会議の議事録について

事務局から、（資料1）に基づき、議事録の内容の確認及び公開について説明

→ 了承された。

4 協議事項

（1）総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（K P I）の設定等について

事務局から、（資料2）及び（資料3）に基づき、総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（K P I）の設定等について説明

ア 基本目標 1 について（資料 2 の 5 頁～ 1 2 頁）

- ・ 会 長：最も重要視されている基本目標 1 について、意見をいただきたい。
確認になるが、今回の総合戦略(案)に、K P I は全て掲載されているか。
- ・ 事 務 局：全て掲載している。
- ・ 委 員：1 0 頁の「行政と民間との機能分担による民間活力の活用」が新たに追加されたのは評価したい。「主な事業」の項目は空欄となっているので、これから検討していくものであると思うが、この具体的施策を各部各課が進めるに当たっては、庁内のまとめ役が必要であると思う。事務局としての考え方を確認したい。
- ・ 事 務 局：「主な事業」の項目は、行政と民間の機能分担について、これから協力、検討していくものであることから、現時点では空欄としている。
- ・ 委 員：民間活力の活用というと産業経済部関連を連想するが、今後の日立市政においては、産業政策だけではなく、様々な分野において取り組んでいかなければならないと考えている。例えば、文化の面において、日立市には多種多様な取組があり、企業や団体だけではなく、人との連携も必要と考える。特定の部署ということではなく、総合戦略を進める上での民間活力の活用においては、企画部が何らかの形でまとめていかなければならないと考えている。
- ・ 委 員：総合戦略においては、企画部がまとめていく認識があるということで、ありがたいことだと思う。民間活力の活用の手法としては、民設民営化

や公設民営化、P P P（※）など様々なものがある。庁内の各部課と民間との連携があって、物事が進んでいくと思う。新しい手法として、行政の重要な仕事を民間が担っていく大切な部分であるので、運用面についても力を入れていただきたい。

※P P P（Public Private Partnership）

行政と民間がパートナーを組んで事業を行う「官民連携」のこと。

- ・ 会 長：民間の方々の意見をいただきたい。
- ・ 委 員：民間活力の活用には、様々な課題があると思うが、いろいろなアイデアや考え方を持たれる方もいると思うし、市外や県外の方の活力を活用することもあり得る。ワーキンググループの立ち上げや、アイデアの募り方など、先進事例の収集などを通じて検討していただきたい。アイデア段階においても、民間の活力を活用していただくとよいのではないか。
- ・ 会 長：産業分野だけでなく、産官学金言労との様々な連携があると思うので、具体化に向けて検討していただきたい。
- ・ 委 員：民間活力の活用に関連した報告になるが、本日、子育て世帯の住宅取得に対して、市内7つの金融機関と連携し、店頭金利の引き下げをしていただく確認書を交わしたところである。可能な部分について、今後も民間活力の活用に向けて取り組んでいきたい。
- ・ 会 長：市内の全ての金融機関か。
- ・ 事 務 局：市の働きかけに賛同いただいた7つの金融機関である。
- ・ 会 長：子育て世帯を優遇するものという理解でよいか。

- ・事務局：市の子育て世帯の優遇策に連動して、金融機関に金利の優遇をしていた
 だくこととしている。
- ・委員：子どもたちの将来のためになる事業として何があるかと考えると、情報
 リテラシー(※)の教育があってもよいのではないかと考える。これを担うのは、
 「ひたち生き生き百年塾」や「日立シビックセンター」であるとする。
 シビックセンターのカリキュラムには、文化的な事業や、科学的な事業
 だけでなく、情報リテラシーの講座を行うほか、パソコンを設置して、
 子どもたちのたまり場となるような場をつくれるとよいのではないかと
 考える。
 リタイアされた方に、子どもへの教育をしてもらうといった民間活力の
 活用の仕方もあるのではないかと考える。 ※情報リテラシー … 情報を使いこなす能力のこと
- ・委員：現在、百年塾や各少年団において、リタイアされた方に御支援をいただ
 いているが、委員の御意見を踏まえ、検討したい。
- ・会長：「ひたちらしさ」については、第1回会議で委員に指摘をいただいたと
 ころであるがいかがか。
- ・委員：「ひたちらしさ」という言葉に対する答えに物足りなさを感じる。「ひ
 たちらしさ」を深めていく議論があってもよいのではないかと考える。
- ・会長：事務局には、「ひたちらしいもの」をできる限り集めていただいた。「ひ
 たちらしさ」に対する意見があれば伺いたい。
- ・委員：「ひたちらしさの再発見」、「ひたちらしさの活用」、「ひたちらしさ
 の強化」とあるが、インパクトがないように思う。観光や産業、福祉な

どにつながるように、まとめ方を工夫するとよいのではないか。

- ・事務局：市民の方などへのアンケートなどを通じて、「歴史の中で守り育ててきた、海・山の自然環境」や「世界レベルの産業」などを「ひたちらしさ」とお考えになる方がおられるので、3頁の表現に整理させていただいた。
- ・会長：「ひたちらしさ」は、人それぞれ感じ方が異なる。継続的に議論されるものとして書かれていけばよいのではないか。
- ・委員：総合戦略には各課の事業が網羅的に記載されているが、これらの各課の事業が一体となって実施されることによって、どのようなものになるのか具体的なイメージができない。各課の個々の事業が結びつき、つながり、まとまることによって相乗効果が生まれるような仕組み、例えば、コンソーシアムのようなものがあるとしてもよいのではないか。
- ・会長：連携について、事務局としてはどのように考えているか。
- ・事務局：具体的施策の欄には市が進める主な事業を参考として挙げているが、総合戦略は産官学金言労が一体となって進めるものであると認識しており、学生やNPOなどの方々を含め、民間の方々と連携しながら進めていきたいと考えている。
- ・委員：コンソーシアムのような仕組みが、絵を見て理解できるとよいのではないか。
- ・会長：具体的施策として市が実施することが記載されているが、民と連携することが分かりやすく示せるとよいのではないか。

- ・事務局：連携することが前提であると認識しているので、イメージしやすい表現方法については、できる範囲で検討したい。
- ・委員：基本に立ち戻って整理させていただきたい。まず、総合戦略の中の「ひたちらしさ」については、これまでの会議で説明し、御理解をいただいていると認識しているが、「ひたちらしさ」とは、自然環境、産業技術の集積、まちを支える人材であると本会議で整理したつもりである。ただし、3つで限定するわけではなく、これからも「ひたちらしさ」をみんなで見つけていく、つくっていくという考え方を忘れてはならないと考えている。次に、総合戦略、地方創生は何かと考えると、総合計画と基本計画が既に策定されており、総合計画で取り組むべき、あるいは取り組んでいるものと、総合戦略で取り組むべき、あるいは取り組もうとすることを切り分けて考えるべきであると認識している。地方創生は、人口減少と、地方経済の再活性化に的を絞った計画であると認識している。総合戦略が日立市の今後を決めていく全てではなく、総合計画の一部であるという御理解をいただきたい。
- ・委員：「らしさ」という言葉で議論されているが、あまり難しく考えなくてよいのではないか。例えば、子どもらしさは何かと考えれば、子どもにあって大人にないものとなる。「ひたちらしさ」とは、「日立市にしかないもの」、「他と比較して日立市が特筆すべきもの」を総称するものと考えればよいのではないか。

- ・会 長：あまり難しく考えなくてもよいという意見をいただいた。人それぞれの感じ方が異なるので、最終的には表現方法になるかと思う。

イ 基本目標 2～5 について（資料 2 の 13 頁以降）

- ・委 員：商店街のにぎわいの創出について提案がある。車から降りて歩きたくなる対策が必要である。そのためには、大型駐車場の整備や、公共交通を均一料金にし、公共交通を利用してもらえるようにすべきではないか。公共交通が車より便利になれば、商店街を歩く人が増え、活性化につながると思う。
また、お試し就業支援のシェアハウスは若者の支援を対象としていると思うが、シングルマザーも対象にしてはどうか。
- ・委 員：平和通りや銀座モール、多賀駅前のよかっぺ通りでは駐車枠を設けているが、長時間駐車の問題がある。地元の方と協力して監視体制を組んでいるが、解決できていない。警察署などとも協議を進めているが、抜本策が見出せていない。委員の御指摘の趣旨はごもっともであるので、事務局とも相談したい。併せて、市営駐車場の効率的な利用についても検討したい。
- ・会 長：シングルマザーを対象としたシェアハウスの活用についてはいかがか。
- ・委 員：地域で創業を考えている若者に対してシェアハウスを支援することにより、移住者を少しでも増やそうと考えたものであるが、シングルマザーを対象とすることについては具体的な検討は行っていない。保健福祉部

の市営住宅の活用にも関連するテーマなので、次回までに検討したい。

- ・ 会 長：民間が立ち上げたものについて、行政がどのように連携するかの方策についての議論かと思う。確認になるが、数値目標の達成状況は毎年確認するのか。また、その結果は市のホームページ等で公表するのか。
- ・ 事 務 局：指標については毎年確認する。途中段階の達成状況の公表については、今後検討したい。
- ・ 会 長：43頁の刑法犯認知件数総数の数値目標は現状維持となっているが、市民感情として現状維持でよいのか。
- ・ 事 務 局：K P I は進捗を図る指標であり、増加させないという目標で現状維持とさせていただいた。
- ・ 会 長：政治的な話をすると、ゼロを目標とすべきで、結果として現状を下回れば頑張ったと評価できるものではないかと思う。
- ・ 委 員：安心、安全を求めるのであれば、個人宅の監視カメラの設置に助成をすると犯罪の抑制になり、日立市はよいまちとして評価されるのではないか。
- ・ 会 長：一つの意見として検討いただきたい。
- ・ 委 員：転出を抑制する意味では、若年層の定住促進が重要であり、高卒者の地元就職の推進については、K P I を設定すべきではないか。K P I を設定して重点的に取り組むべきではないか。どこに住みたいかは、どこに就職したいかと関連すると思う。

- ・事務局：K P I は事業 1 つ 1 つではなく、施策全体に対して設定されるものであると認識している。また、K P I は、具体的施策の進捗状況を測る客観的な指標として設定している。
- ・委員：日立女性フォーラムでは、日立市内の高校の就職状況、進学状況を調べている。各高校の就職先の地域の分類は、県内か県外かである。日立商業高等学校をみると、就職希望者はほぼ全員就職できている。高校生が就職したいと思うまににする必要があるのではないか。
- ・委員：刑法犯認知件数総数の数値目標については再度検討したい。なお、日立市の刑法犯認知件数は、県内の自治体と比較して極めて少ないと警察から聞いている。委員から御意見のあった防犯カメラの設置については、まず不特定多数が利用する市内の駅前広場から前倒ししながら設置を進めている。現在、駅前広場以外でも設置についても検討を進めており、委員の御意見も踏まえて研究していきたい。
- ・委員：承知した。
- ・委員：総合戦略で主に何がやりたいのか、何が重要なのが見えてこない。また、総合戦略について、審査、審議する機関はあるのか。
- ・事務局：市の総合計画は市の事業全体を網羅する計画であり、総合戦略は国の地方創生の動きに対応したものであり、人口減少問題に対する計画である。
- ・委員：5つの基本目標のうち、何が一番重要であると考えているのか。

- ・事務局：雇用の確保・創出、子育て応援、転入促進・転出抑制を一体的に取り組むことにより、総合戦略で目指していることが実現されるものと認識している。
- ・会長：進捗管理はどのように行うのか。
- ・事務局：国からは、進捗管理は定期的に第三者機関で数値等を評価することが望ましいとされている。
- ・委員：3頁の日立市、高萩市及び北茨城市の県北臨海3市の連携事業は、ハード事業の内容である。観光など、3市がダイナミックに行っていくような施策が、この3つの中に含まれているのか。
- ・事務局：観光は包含されていない。国の地方創生の動きに先駆け、県北臨海3市が共同で調査研究を行い、3市が連携・協働する取組として掲げたものを地域連携の事業としている。
- ・委員：日立市に人を呼び込むためには、イベントを実施するなど観光の視点が重要であると考え、発言させていただいた。
- ・委員：市では、地域医療体制の整備を進めている。「ひたちらしさ」につながると思うが、日立市内の医療体制の整備はまちの歴史そのものである。茨城県内で初めて看護師養成学校ができたのは日立市である。また、総合病院も茨城県内で初であった。本会議の委員に医療関係の方がいるので、医療の観点から「ひたちらしさ」について御意見をいただきたい。
- ・委員：医療・福祉分野では、超高齢化社会の中で老後も安心して暮らしていけ

るという総体が、「ひたちらしさ」に通じるものであると思う。しかし、医療施設は日立市のためだけにあるものではなく、周辺の市町村とも共存共栄していくものであるので、そのことを踏まえた計画になればよいと考える。

- ・ 委員：市民の方は満足していないかもしれないが、日立市の医療環境は、県内の他の地域と比較して恵まれている。これからの超高齢社会に対応するため、引き続き行政や医療関係者が協力し、地域医療体制の整備に向けて頑張っていきたい。
- ・ 会長：会議後であっても、提案があれば、事務局に意見してほしい。
- ・ 委員：基本目標2に、道の駅日立おさかなセンターでのインターンシップ事業があるが、就業経験ができる施策はありがたい。農業や漁業などの第1次産業の就業者の減少、高校生の地元就職などの課題があるが、日立市には、小学生、中学生を対象とした職業探検少年団という事業がある。授業の一環として継続できれば、第1次産業への就職が増えるのではないかと。
- ・ 委員：多くの事業が掲載されているが、構造図のような図があると見やすく、分かりやすくなってよいと思う。また、今後5年間、事業を続けるに当たって、第三者機関で進捗管理を行うとのことなので、それについても総合戦略に記載されてもよいと思う。

5 その他（次回の開催日程について）

事務局から、次回が最終回となることと、開催日程は12月初旬で調整したい旨を説明した。

以上